

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 2年 3月 6日

事業所名：三鷹市子ども発達支援センターくるみ幼稚園

保護者等数（児童数）29 回収数 25 割合 86.2%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備について	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	23	2			・体が不自由な子には狭そうに感じる。 ・園庭が狭い。外遊びがプールだけというのはさみしい。 ・とてもきれいで広いのがよい。 ・安心して活動できる。	・スペース的には基準を満たしておりますが、引き続き、活動に応じた、スペースの確保に努めていきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか。	20	4		1	・1グループに担当の先生2人は少ないように感じる。 ・専門性に関しては活かされているか不明・差がある。 ・配置数は問題ない ・適確にアドバイスくださる先生もいるが、ただ話を聞くだけの先生もいる。	・職員の配置につきましては、療育に合わせた人員配置を行っております。 ・職員の研修の受講、また、定期的に職場内での勉強会を継続して行い、職員の学ぶ機会を作っています。今後も継続し、更なるスキルアップに努めていきます。
	③	生活空間は、本人にとって分かりやすく、構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、園の設備はバリアフリー化や、情報伝達等への配慮が適切になされているか。	23	2			・園内はフラットでよい。 ・外通路が狭く、植え込みや段差によく子どもが落ちる。すれちがえない。（同1通） ・子どもたちに合わせわかりやすい掲示に改善されている。	・外通路を広くすることは難しいですが、植え込みの工夫など施設側とも一緒に考えていきます。現在は、段差が分かりやすくなるよう、黄色のラインをつけました。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	25					・子どもたちが心地よくわかりやすい環境の中で過ごせるよう、引き続き整えていきます。
適切な支援の提供		子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか。 ※「個別支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は、児童発達支援事業所の児童発達支援管理者が作成します。	23	1			・先生によって計画の立て方に差を感じる。	・保護者と一緒に確認をしながら、子どもの成長につながるよう作成しています。引き続き、専門療法士、担当職員と複数職員で、丁寧なアセスメントを行い、保護者と面談の上確認し、子どもの成長につながるよう、個別支援計画の作成をすすめていきます。

	⑥	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの中の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	22	3			・個別支援計画では、「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容を記載しておりますが、より具体的にわかりやすい支援内容の記載を心掛けていきます。	
	⑦	個別支援計画に沿った支援が行われているか。	23	2			・個別というより全体を見での共通な支援をしているので、課題に対する対策が見えてこない	・集団活動の中で個々の課題を捉え、支援をしたいと考えておりますが、個々の発達に応じた支援の充実については、いただいたご意見を真摯に受け止め、保護者の方には、より丁寧に説明させていただきよう努めていきます。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう、子どもの様子や成長に応じて、活動プログラムを変えていく等の工夫がされているか。 ※「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。 子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。	20	1	3		・幅が広がらないので、専門性を活かしてほしい。 ・活動プログラムの幅を個人に合わせて広げてほしい。 ・成長に応じて工夫がされているのか、実際に見ていないし、先生と直接話す機会が少ない。	・集団活動の中で個々の課題を捉え、各々に必要な手立てを行い、子どもが分かり、出来ることを大切に、プログラムを設定しています。子どもの成長に合わせ、内容は職員で話し合いながら、ステップアップしています。 ・保護者の皆様には、いつでも日頃のお子さんの様子を見ていただき、面談などで丁寧に説明させていただきます。
	⑨	保育園や、認定こども園、幼稚園等との交流や、その園児らと活動する機会があるか。	11	7	3	4	・交流時間が短いので、満足のいく機会とは思えない ・もっと増やしてほしい。 （同1通） ・低学年では機会はない。 ・上階の高齢者などと園外活動もあれば良いと思う。	・子どもの年齢や時期、様子に応じ、公立保育園での「交流体験」「交流保育」を行っています。（「交流体験」は、14名を対象に年間4回ずつ体験できるように設定をいたしました。）また、「交流保育」については2名を対象に年間6回ずつ、9回設定いたしました。） また、地域の保育園児が遊びに来る、「訪問交流」についても今年は1月に1度行いました。 今後も、どのような形の交流が子どもにとって大切であるかということを考えながら進めていきます。
保護者への説明等について	⑩	契約時に、園の運営規定や、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	25					・入園時に丁寧に説明させていただいておりますが、入園後も必要に応じて説明させていただきます。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容とこれに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	24	1				・期ごとに計画を提示しながら、個別面談を行い、話をしています。今後もしっかり伝える工夫をし、丁寧な説明に努めていきます。
	⑫	保護者に対して、家族支援プログラム（子どもの発達や関わりを理解するための勉強会、ペアレントトレーニング等）が行われているか。 ※くるみ幼稚園では、「家族支援のプログラム」として専門療法の勉強会の開催や茶話会・懇談会	23	2			・先生ともっとマンツーマンで話をききたい。 ・「ペアレントトレーニング」があるといいと思う。（同1通） ・茶話会はもう少し頻繁にあるといいと思う。 ・座談会の先輩ママの話は大変よかった。事前にアンケートをとっておくと、会の進行がスムーズなので	・今年度も座談会（4回）、茶話会（3回）、保護者研修（3回）、勉強会（5回）などを定期的に行っております。 ・今後も保護者の方のニーズに沿えるよう、内容の充実にも努めます。

		等の話し合いの場の設置などをプログラムとして位置づけています。「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。				はないか。	
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか。	20	5		・OT,ST 時に詳しく聞いているが、普段の様子も知りたい。	・保護者の方へ伝え合う機会に足りていないとの、ご指摘を頂いたことを真摯に受け止め、今後は伝える場、伝え方などを工夫していきます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行なわれているか。	22	2	1		・定期的に面談をさせて頂いています。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会、懇談会等の開催により保護者同士の連携が支援されているか。	17	8		・横のつながりはあるが、学年を超えてのつながりが薄く感じる。	・保護者同士の交流の場とし、座談会や茶話会を開いています。保護者の方が集えるよう、お部屋の使い方など工夫し、場の設定を行う予定です。
	⑯	子どもや、保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。	22	1	2	・専門療法士につないでいただけている。	・保護者からの相談などには出来るだけすぐに対応するように努めています。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	21	3		・相談事を記入した連絡帳に返事がない時がある。 ・迎えの時、待ち時間が長くなり話せずに帰ることがある。	・子どもの様子を保護者に伝え合うことを大切に考え、時には電話をさせて頂いております。
	⑱	定期的に、園だより等を通し、活動概要や、行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか。	25				・園だよりを通して、活動の様子や行事予定などをお伝えしています。自己評価の結果についても書面でお伝えします。
	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意されているか。	24		1		・今後も十分に注意し、取り組んでいきます。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	20	3	2		・月1回の頻度で避難訓練を実施しています。マニュアルもあり、保護者の方にも見ていただけるよう玄関に置いています。今後は全体に周知する工夫をしていきます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。	21	3	1		・月1回の頻度で、地震や火災等に備えた避難訓練を実施しています。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか。	22	3		・環境変化があると行きたがらない ・嫌がる。興味のある活動を取り入れてほしい	・安心できる大人との信頼関係を作ることで、変化によるお子さんの戸惑いが最小限となるよう、個々の状況に合わせた支援を行っています。 ・引き続き大人とのやりとりを手掛かりに活動に興味を持てるよう、手立てや支援の工夫をしていきます。

	②3	くるみ幼稚園の支援に満足しているか。	23	1	1	・教育面も個々に合わせて取り入れるとよりベスト。 ・学ぶ、挑戦する機会を与えないことには残念に思うところもある。 ・同じスキルのグループなので刺激が足りないのではと思う。 ・MTに使う正三角形の紙を保護者に作成させる必要性が感じられない。正確にできるやり方を提示する、外注する、再利用するなど工夫してほしい。	・幼児期に大切にしたい、やりとりする力を育てるために、プログラムを設定しています。大人とやりとりしながら、さまざまな活動に挑戦し、達成感を持ち、意欲的に活動に取り組めることが、この時期の大切な教育だと考えています。 ・教材の作成については、保護者の方にも、活動と一緒に参加して頂く意味を込めて、少しお手伝いをして頂いています。ご理解とご協力に感謝しております。
--	----	--------------------	----	---	---	--	--